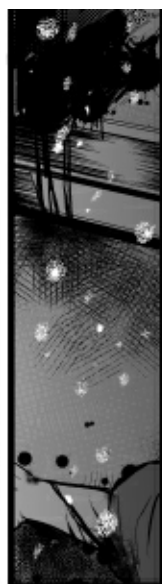




登城途中の井伊直弼を襲った
桜田門外の変である
安政年間には江戸城火災などの
厄災もあったため
三月十八日には元号が
万延に改元された



江戸城桜田門

安政七年三月三日
—
遣米使節団一行が
サンフランシスコに
滞在していた頃
日本では世間を揺るがす
大事件が起きていた



幕末に
世界一周
やってみた

4

少しさかのぼる三月十四日
四日後のサンフランシスコ出航に向けて
素毛たち賄い方は調達する食材の調査に
街を歩いていた

構成
漫画

川合登志和
秋桜



あつ
おい
加藤！

火事の事じゃな！
外国の出火が
見られるとは
一興！



Fire!

パヤ？

！
なんだ
なんだ？

Fire?!

COLON

PANAMA

万延元年閏三月五日
十七日前にサンフランシスコを出航した
ボーハタン号はパナマに到着
船からは二十一発の祝砲があがり
甲板からは音楽が奏でられ
乗組員たちはマストに登って
使節団一行を見送った

ここまで苦楽を共にした
ボーハタン号の
乗組員とはお別れ！
皆握手をして別れを
惜しんだんじや

ありがとう
芳波丹君...

ちゃんと給食
描いてるよ



ド
ン
ド
ン
ド
ン
ド
ン

パナマの気温は三十二度
外国人は一泊しただけで
病気になると言われとるだけあって
蒸し暑くてたまらんのう

ここから
アスピンウォール(現コロン)
までは五十七里もある
この暑さでは移動が大変！

蒸気車じゃ！

この蒸気車に乗って
アスピンウォールへ
行くのか！

パナマ地峡鉄道は
一八五三年にイギリス・フランス・アメリカが
このパナマを横断する最も距離の短い所を
鉄路で繋ぐと一億八百万ドルが投じて作られ
一八五五年に開通した
この時代パナマ運河もまだなく
ゴールドラッシュであふれた人を
陸路で移送させる手段がなかった

パナマは雨も多く暑さも厳しく
「枕木一本に一人の命」と
言われるほど過酷な工事だった
完成後は快適に移動できるようになり
まさに「奇功」といえる





なんちゅう
音と振動じゃ!

おおおおお
音があああ!



お……
動き出した



それにしても……

なまほ……
上下に開き……

……



破裂しそうな蒸気車の音
体感したことのない暑さ
音さえも暑く感じられる……

よし!
ここで一句

裂る程車のおとも暑サ哉

呑気に一句詠んでる
場合かー!
煙が入ってきて
ススだらけじゃ!

機関車に近い車両では
振動も煙も多いため
一番前の車両に荷物を乗せ
身分の低い者から
前方の車両に乗った



午前十一時
途中駅にて休憩と昼食



『早き事矢の如し』
あまりのスピードに
野原・溪谷・洞窟など
窓からの景色が
目に留まらないと
素毛は綴っている



次回予告

アスピンウォールから
ニューヨークへの船旅は
太平洋とは違い
素毛は目に映るあらゆるものに
異文化を感じていた



その二方
船上では残念な出来事や
恐ろしい声も！

次回はまさかの
ホラー回？



なんといっても驚いたのが
氷じゃなあ！
北海で採った氷を運び
長持のような大きな箱に
おがくずで詰めて保存しとる
そうじゃ
帰国後この話をするに決まってる
「暑い国で氷？」という反応が
返ってきたんだわ
いわゆるわしの「鉄板ネタ」に
なったというわけよ！

わしにとつてはこの旅の
一番の御馳走じゃった！
日本人のジュース好きは
現代に限った事じゃないと
いうわけじゃな！

遣米使節団職方
素毛のキャンピング

用いるもの

- ・水
- ・砂糖
- ・ペンズ
(なければ、好きに
やんざつ類)

氷

